



新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白

記

● 項目名

● 可溶性フィブリンモノマー複合体 (SF) 定性 (検査項目コード No.13106)

受託開始日 2018年1月23日 (火) 受付分より

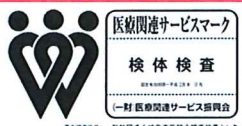
血漿中の可溶性フィブリンモノマー複合体 (SF) は、生体内において生成されたトロンビンがフィブリノゲンに作用した際に生成され、血中SFの増加はトロンビンの活性化による凝固亢進状態を反映します。また、肺血栓塞栓症 (PTE) と深部静脈血栓症 (DVT) の総称である静脈血栓塞栓症 (VTE) は高齢化や生活習慣の欧米化に伴い、わが国においても近年増加傾向にあります。

特に心筋梗塞、脳梗塞、肺血栓塞栓症のように生命に関わる血栓性疾患においては、その診断が遅れると重篤な病態を呈する可能性があることから、早期診断による早期治療が重要とされています。播種性血管内凝固 (DIC) が疑われる症例ではトロンビンの動態を知ることが大変重要ですが、そのためSFはDICをはじめとする血栓症および血栓準備状態を推測するための凝固系分子マーカーとして用いられます。

従来より、SFはDIC診断基準の補助項目として広く測定されてきましたが、新たに日本血栓止血学会による「DIC診断基準2017年版」に加えられました。(TAT、SF、プロトロンビンフラグメントF1+2のうち、1項目が基準範囲上限の2倍以上で1点加点する。)

PTE : pulmonary thromboembolism
DVT : deep vein thrombosis
VTE : venous thromboembolism
DIC : disseminated intravascular coagulation

裏面に続きます



より正確に！
より迅速に！
地域に密着した検査体制

登録衛生検査所
一般社団法人
岐阜市医師会臨床検査センター
電話 058-255-1040

受託要領

新		ご参考：現行コード内容
検査項目 コード No.	13106 (親) 可溶性フィブリンモノマー複合体(SF)定性 (子) 22217 濃度 (子) 22218 判定	03045
統一コード	2B110-0000-022-062	2B110-0000-022-101
検体必要量	血漿(クエン酸Na) 0.3mL	同左
容器	5 → S-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	3 ~ 6	同左
検査方法	ラテックス凝集法	凝集反応
基準値	濃度：7.0未満 判定：(-)	(-)
単位	濃度：μg/mL 判定：なし	なし
報告範囲	濃度：7.0未満～100.0以上 判定：(-)、(+)	(-)、(+)
報告桁数	濃度：小数第1位 判定：なし	なし
検査実施料/判断料	93点/125点 (血液学的検査)	同左
備考	本検査の保険請求時の検査名は「フィブリンモノマー複合体定性」です。	

【検査方法の参考文献】

細田雅子, 他: 日本検査血液学会雑誌 10, 202-210, 2009.

新規項目と現行項目の一致率表

		現行		
		+	-	合計
新	+	27	78	105
	-	0	51	51
合計		27	129	156

陽性一致率 100.0%

陰性一致率 39.5%

判定一致率 50.0%

委託先検討資料

今後の予定

- 当該検査の受託開始に伴い、現行の可溶性フィブリンモノマー複合体(検査項目コード No.3045)は2018年3月31日(土)受付分をもちまして検査受託を中止させていただきます。